

平成30年度 運輸安全マネジメント



寝屋川バス 株式会社

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 社長及び役員は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
2. 輸送の安全の確保に関する声の傾聴など、現業の状況を把握した上で、全社員に対しても輸送の安全の確保を浸透させ、定着させます。
3. 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施するとともに、安全対策を不断に見直し、全社一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
4. 輸送の安全に関する情報については、積極的にホームページ上で公表します。

2. 輸送の安全に関する平成30年度安全目標および当該目標の達成状況

年度	重大事故件数	単独物損事故件数	内後退事故件数
平成29年度目標	0件	20件以内	10件以内
平成29年度結果	0件	27件	14件
目標に対しての結果	0件	-7件	-4件
平成30年度目標	0件	20件以内	8件以内

平成29年度の事故件数については残念ながら目標達成出来ませんでした。特に後退事故や、施設内での単独物損事故が顕著な傾向として見られる為、平成30年度は必ず目標達成出来る様、重点計画を立て事故減少を目指して参ります。

【平成30年度 安全目標】

1. 重大事故件数0件を達成します
2. 有責事故件数20件以内を達成します
3. 後退事故件数8件以内を達成します

【寝屋川バス 安全方針 3原則】

1. 安全な輸送が最優先
2. 法令遵守の徹底
3. 安全意識・取組の向上

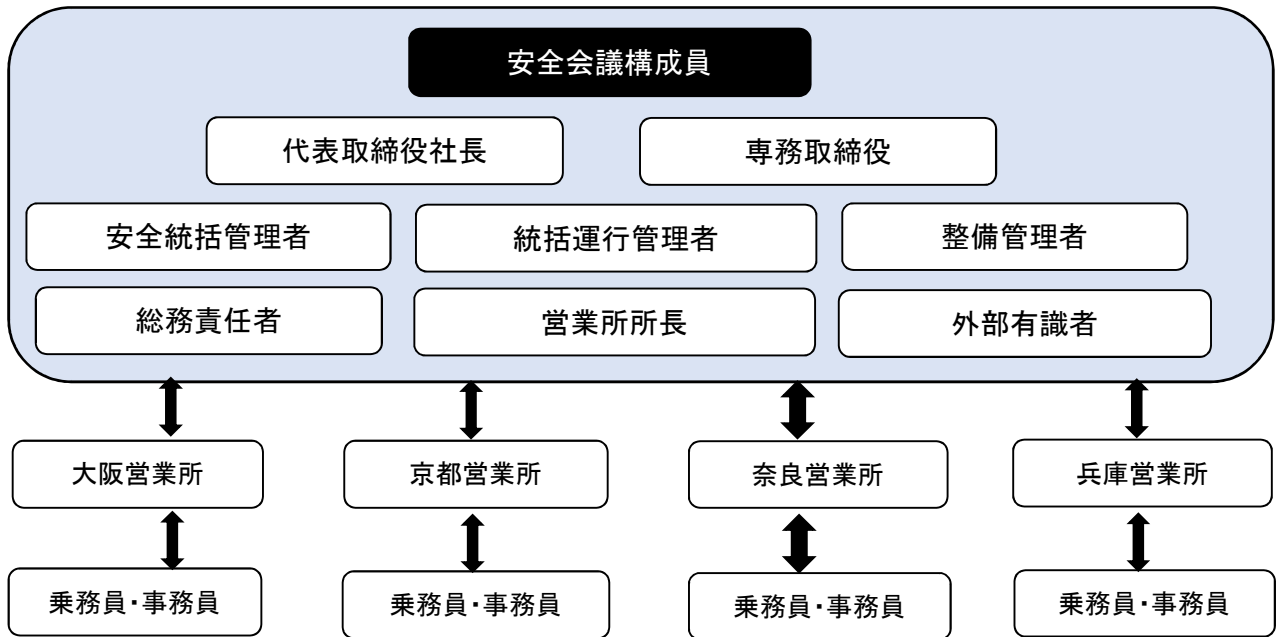
3.自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

平成29年度は自動車事故報告規則第2条に規定する事故(重大事故)はありませんでした。

4.輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

運輸安全マネジメントに関する組織として安全委員会を設置し、代表取締役をはじめ各セクションの代表者が集まり、月例で安全会議を必ず行い全ての安全に関わる事案について話し合う場を設けております。

注意事項や指示・決定事項については安全統括管理者より各拠点責任者へ伝達を行い、全営業所への周知が行き届く様に管理体制を整えております。



5.輸送の安全に関する重点施策計画

①原点回帰、基本動作の徹底

- ・後退事故防止の為、下車目視確認の徹底、相互誘導の徹底を行う
- ・防衛運転に徹し、常に譲る気持ちを持ち適正な車間距離保持を徹底する

②安全意識の向上

- ・全社員が事故/違反を起こさない気持ち・意識を高く持ち、従来の意識から変革させる

③運行管理/整備管理の再強化

- ・運行管理指示・事前準備の強化向上、整備管理システム導入に伴う管理強化と連携を図る

6.輸送の安全に関する計画

1.年間教育計画に沿った乗務員定期班分け研修の実施

- ・対話型研修を積極的に実施し、自分で考え動き発する研修を行う

2.デジタコ・ドラレコを活用した教育研修の実施

- ・ヒヤリハットデータ収集の強化し、事故事例と共に研修にて周知を行う

3.大型バス・中型バスへのスキルアップ研修の実施

4.事故・災害訓練・救急救命講習の実施

- ・継続実施、今年度は大規模災害やテロ・バスジャック対策も想定し行う

5.大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストの参加

- ・昨年度は金賞を受賞、今年度も受賞出来るよう一丸となり取り組む

6.社外実務研修・講習の積極的な受講

- ・クレフィール湖東/運管一般講習/NASVA安全マネジメント関連講習/整備実務講習など

7.健康管理体制の強化

- ・脳ドック検診の導入、SAS検査の対象者拡大、産業医の選任、健康管理資格の取得など

7.輸送の安全に関する予算等

1.社内研修予算		
①乗務員年間計画研修		¥600,000
②冬季実地(雪上)研修	12名	¥750,000
③新入乗務員育成研修	10名	¥2,000,000
④外部運転講習参加(クレフィール湖東)2名		¥100,000
	研修予算計	¥3,450,000
2.運行管理予算		
①安全マネジメント教育研修	2名	¥24,000
②NASVA適性診断〈一般〉	25名	¥57,000
	〈初任〉 10名	¥45,000
	〈適齢〉 5名	¥23,000
③NASVA運管一般講習受講	16名	¥70,000
④NASVA運管基礎講習受講	2名	¥20,000
	運管予算計	¥239,000
3.車両設備投資予算		
①新型車ASV導入	2台	¥1,320,000
②IP無線機追加導入	28台分	¥2,000,000
③リアルタイム式トラレコ機器導入	20台分	¥1,000,000
④大型車コーナーセンサー	2台分	¥500,000
	車両予算計	¥4,820,000
4.健康管理予算		
①定期健康診断/高齢者診断	65名	¥455,000
②SASスクリーニング検査	30名	¥135,000
③脳ドック検診	3名	¥30,000
	健康予算計	¥620,000
	予算総額	¥9,129,000

8.事故、災害時における報告連絡体制

※別紙の危機管理系統図(PDF)にて緊急時対応の方法及び連絡先を確認しております。

9.安全統括管理者、安全管理規定

安全統括管理者…代表取締役 田嶋 仁一

※別紙の安全管理規定全文(PDF)をご参照下さい。

10.輸送の安全に関する教育および研修の計画

※別紙の年間教育計画(PDF)をご参照下さい。

11.自社内部監査の結果及び是正措置

平成30年3月に、自社監査員2名による運輸安全マネジメント内部監査を行いました。昨年度の改善事項に対して概ね解決されておりましたが、事故件数は増加結果となり、後退自損事故および敷地内自損事故の減少を目的に重点改善項目として注力し、更なる安全対策の充実を図るべく、今後の課題点として改善を進めて参ります。

12.輸送の安全に関する行政処分等の情報公開

平成29年度、弊社の輸送に関わる行政処分はございませんでした。